

町民のニーズをつかむ

まちづくりアンケートを実施

美郷町では平成17年6月、無作為に抽出した町民二千一人(うち千二十七人が回答を対象に、町の総合計画と国土利用計画に関するアンケート調査を実施し、新しいまちづくりに対するご意見やご要望をまとめました。

この結果は、美郷町のまちづくりを総合的かつ計画的に進めていくため、その基本的な方針や将来像、目標を掲げ、その実現のための主要施策や施策事業を推進する「美郷町総合計画」策定の基礎資料とされました。

図1 居住地の満足度

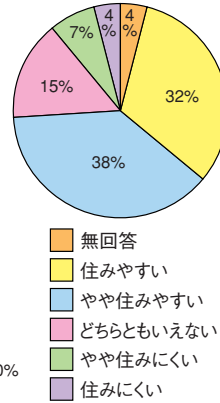


図2 居住地の満足度(年代別)

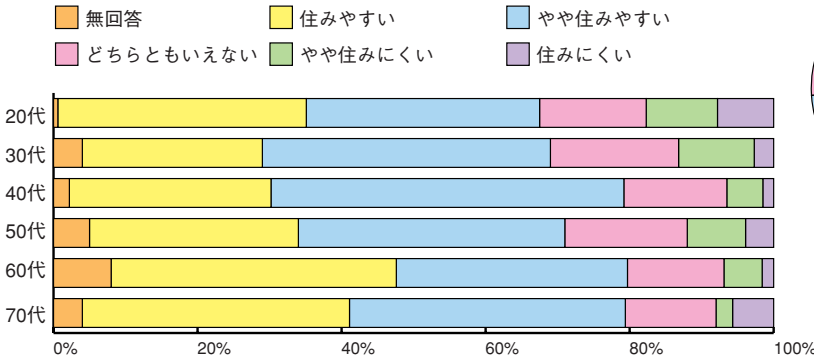


図3 今後も住み続けたいか

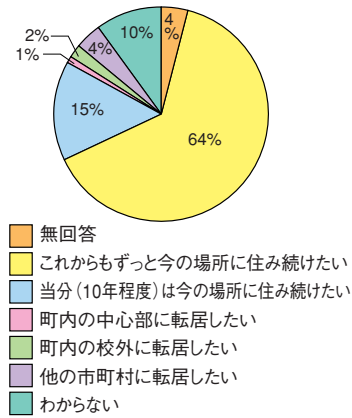


図4 今後も住み続けたいか(年代別)

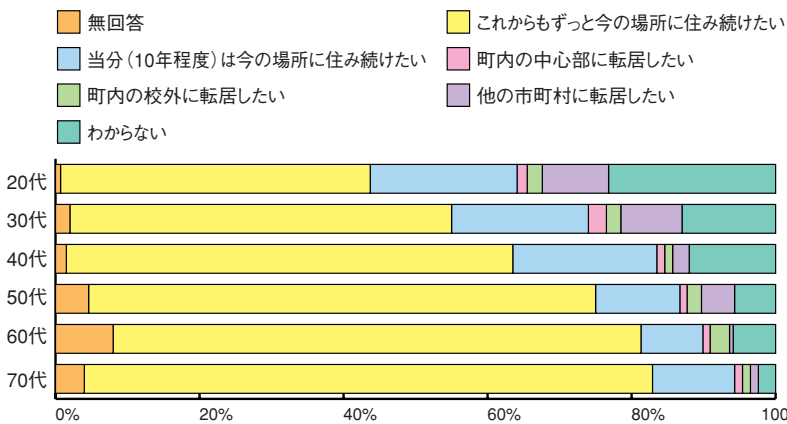
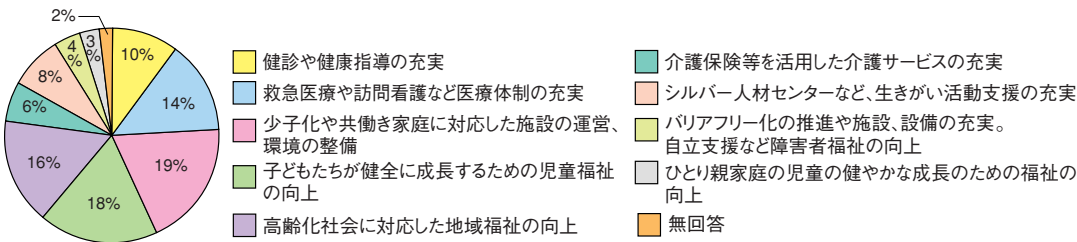


図5 まちづくりで重要と思われる施策(保健・福祉の充実)



このうち「住みにくい」「やや住みにくい」と答えた人を年代別に見ると、特に20代、30代で多く、また居住環境別では、中山間地域の人が32%と高い割合となっています。

また、現在住んでいるところに今後も住み続けたいかという質問には、79%の方が「ずっと住みたい」「当分(10年程度)は住みたい」と答えており、町内の中心部や郊外に転居したいと考えている人を合わせると82%の人が今後も美郷町に住み続けたいと答えています。

82%の人が「美郷町に住み続けたい」

居住地を主とした町の現状の満足度(図1)については、「住みやすい」「やや住みやすい」と答えた人が70%、「住みにくい」「やや住みにくい」と答えた人が11%という結果となりました。

図7 まちづくりで重要と思われる施策
(観光振興・余暇の充実)

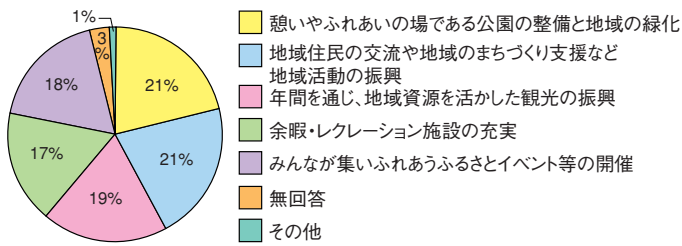


図6 まちづくりで重要と思われる施策
(産業・労働の振興)

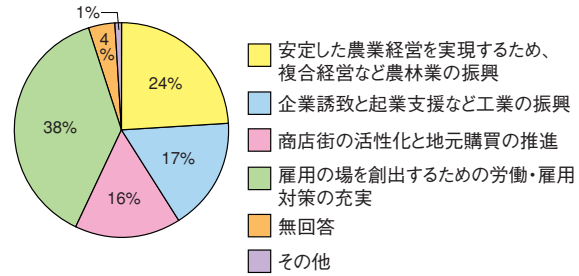


図9 まちづくりで重要と思われる施策
(教育・文化の振興)

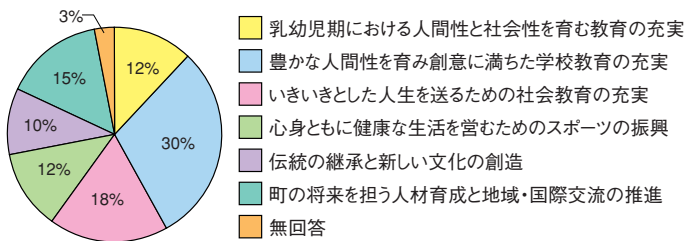


図8 まちづくりで重要と思われる施策
(生活基盤の整備・環境保全)

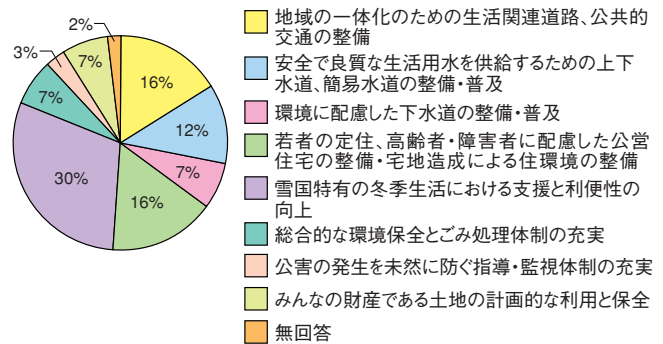


図11 まちづくりで重要と思われる施策
(行政の運営)

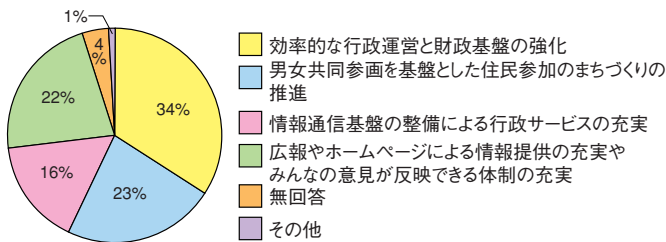


図10 まちづくりで重要と思われる施策
(防災対策・防犯対策の推進)



住民がまちづくりに
参加できるように行政運営を望む

また、今後のまちづくりで重要と思われる施策について7つの分野にわけて調査した結果が図5～11です。

この中で特に割合の高かった施策は、産業労働の振興では「雇用の場を創出するための労働・雇用対策の充実」(38%)、生活基盤の整備・環境保全では「雪国特有の冬季生活における支援と利便性の向上」(30%)、教育・文化の振興では「豊かな人間性を育み創意に満ちた学校教育の充実」(30%)、防災対策・防犯対策の推進では「安心して暮らせるための犯罪の未然防止と追放」(32%)、行政の運営では「効率的な行政運営と財政基盤の強化」(34%)などという結果になりました。

昨今の社会情勢等を反映して、雇用対策の充実や防災・防犯対策の推進、豊かな人間性を育む教育の充実を望む意見が多いとともに、住民がまちづくりに参加できるように行政運営を望む意見も多く寄せられました。

出典：「総合計画・国土利用計画アンケート報告書」

(平成17年6月・美郷町)